

令和6年度予算に対する各会派の意見

政友会

令和6年度一般会計予算は、合併以降最大の544億5千万円となり「華のある都市 古河」の実現への積極さが感じられる。地域経済・雇用の創出、移住・定住の促進、子育て支援、にぎわい創出、GX・DXの加速の施策は評価できる。当会派では、子育て支援員の拡充、(仮称)古河市新公会堂の早期実現を望む。

佐藤 泉 小森谷博之 鈴木 務
小林登美子 印出 慎也 赤坂 育男
鈴木 隆 渡邊 澄夫

古河市公明党

令和6年度予算は、当会派の政策提案による、小中学校の給食費無償化や、帯状疱疹ワクチンと不妊治療費の助成、中学生のメンタルヘルス支援ツール導入などが盛り込まれ、市民生活の安心、安全を見据えた予算編成であり評価する。また、今後の新たな産業振興や、若者・子育て世帯の移住・定住の促進などに期待する。

高橋 秀彰 佐藤 稔
靄見久美子 佐々木英徳

市民ベースの会

若者・子育て世帯にまちなか住宅取得奨励金、戸建て空き家修繕・賃貸利活用の取り組みは転入増や転出防止につながる。窓口業務民間委託、フロントヤード改革やキャッシュレス決済等により窓口業務の向上・市民の利便性、また、適切な市有財産管理を行い、「華のある都市 古河」の実現となる予算執行を大いに期待する。

増田 悟 落合 康之
阿久津佳子 立川 徹

真政会

令和6年度一般会計予算は合併後最大となる、544億5千万円となり、5つの重点施策をもとに、選択と集中の観点からもめりはりのある予算編成である。市民の皆さまが希望の持てる古河市、また「華のある都市 古河」の実現に向けて、住民福祉の向上に努めていただくことを期待する。

黒川 輝男 園部 増治
青木 和夫 稲葉 貴大

会派に属さない議員

令和6年度予算は、おおむね適正に予算編成されていると考えるが、小中学校の給食費無償化に関しては、議論が尽くされているとは言えず、税金使途公平の観点からも反対する。

関口 和男

国・地方とも厳しい財政状況の中、無駄な仕事は減量しつつ市民ニーズに応える必要がある。地域活性化のため、新たな産業・商業拠点の創出、移住定住促進の施策等は評価できる。

古川 一美

新年度予算の学校給食の無償化と体育館のエアコン設置などは評価するが、開発優先で老人福祉センターの廃止などがあり、子育て・くらし・福祉後退の新年度予算に反対する。

秋庭 繁